

KALS 大学院入試対策講座

専属チューターからのメッセージ



2011 チュートリアル通信

【税法科目免除⑮】

河合塾 KALS の大学院入試対策講座では、チューター制度を導入しています。チューターは当校の合格者 OB/OG を中心に編成。授業での合格指導のみならず、受講生向け学習ガイダンス「サクセスチュートリアル」や個別カウンセリングなどを通じて、受講生からの進路・志望先に関する事、自主学習に関する事など、合格に向けてきめ細かくアドバイスをしています。以下は、税法科目免除・平林チューターからのメッセージです。今後の受験対策のご参考にしてください！

面接対策・持ち物リスト～合格へのエール

税法チューターの平林です、こんにちは。去年の9月に開講し、試験日の早い大学院であれば、もうすでに試験が終わっている大学院もあります。初めての大学院入試で不安なこともたくさんあると思いますが、約半年間、頑張ってきた自分を信じてその成果をすべて出し切ることに全力を注いでください。この時期に入ると、自分の弱点ばかり気になってしまい、あれもやらなくては、これもやらなくてはと考えがちですが、自分が苦手な部分にばかり気を取られないようにし、得意な分野にも傾注するようにして自信を回復するようにしてください。誰でも苦手なところの一つや二つあるのは当たり前です。そして、去年の12月に発表された税理士試験の結果を受けて、準備不十分の状態を受験に臨むライバルも出願しているでしょう。そう考えると、試験の合格倍率は気にすることはありません。きちんと勉強をし、準備をしてきた受験生が合格を勝ち取るのです。KALSで指導を受けてきた受講生の皆さんは皆、ある一定のレベル以上にあるとチューターとして接していて感じます。今までやってきたことを、試験場でアウトプットするだけです。極端に緊張したり自信を喪失したりするのはやめましょう。

今回は、最後のアドバイスとして、①面接対策、②持ち物リスト、③合格へのエール、を書こうと思います。

●面接対策

一般入試であれ、社会人入試であれ、面接は必ずあります。面接では面接会場に入室したら、席に座る前に『〇〇です、よろしくお願いします。』と、名前を大きな声ではっきりと述べ、一礼してから用意されている席に座りましょう。特に、社会人入試では、税法の知識よりも社会人としてのマナーを重視する大学院もあるようなので、言葉遣いや、控室でのマナーにも注意してください。控室にいるからといっても、誰がチェックしているかわかりません。常に見られている意識を忘れずに。

研究計画書の内容を中心に質問される大学院を受験予定の皆さんは、研究計画書の内容は十分に理解し、さらに自分の中で内容を深めていき、願書提出から受験日まで掘り下げて調べてみるのもいいと思います。こうして、研究計画書について何が聞かれても、答えられるように準備してください。

また、面接では研究計画書以外に必ず聞かれる質問もあり、そのような質問は重要性も高いと思います。質問内容を想定して、答えを考えておくと緊張せずしっかりと答えることができます。さらに、面接では、税法の知識を問われることもありますので、税法の基本書等を簡単に読んでおいた方が良いでしょう。ただ、

税法に関する質問は基本的な知識を問われる程度だと思いますので、冷静に黒須先生の講義の内容を思い出していただければ十分だと思います。

そして、私の個人的意見として、練習しておいてほしい質問を下記にまとめておきましたので、参考にいただければと思います。

- ①大学院の進学動機は何ですか？
- ②本学の志望動機は何ですか？
- ③修了後の進路（進路希望）はどう考えていますか？
- ④税法科目免除を希望しますか？

これら4つについては、質問される可能性が高いですし、また質問された場合に、準備しておかないと良い答えができないため、しっかりと練習しておきましょう。

これら以外では、学校のパンフレットを熟読し、その大学が求めている人物像をイメージしておくが良いです。

●持ち物リスト

- ①受験票
- ②筆記用具
- ③時計（普段、携帯電話を時計代わりにしている人は時計を用意しましょう。携帯電話は電源を切るように指示される可能性があります。）
- ④教材（薄いもので、愛着がある教材だけでいいです。手を付けてない教材は、逆に持って行かない方がいいです。）
- ⑤財布（当日、何が起こるかわかりません。タクシー代くらいは持って行きましょう。）
- ⑥セロハンテープ（受験票を机に貼ってしまえば、試験中に落下するストレスを解消します。）

●合格へのエール

9月開講で始まった講座ですが、約半年間、どのように勉強されてきましたでしょうか。金子先生の本を読んだり、今まで税理士試験の予備校で勉強してきたことと全く違う勉強に取り掛からなければいけなくなり、当初は戸惑いもあったと思います。

正直なところ、自分は実力がついたのか全く分からないという方でも、きちんと予習復習をこなしていれば、半年前の自分と変わっていないということはありません。自分では気づかないうちに実力が付いています。今まで頑張ってきた自分を思い出し、強い気持ちを持って試験に臨みましょう。試験当日は『何がなんでも合格するのだ。』という気持ちがあれば、火事場のなんとかなのように普段出せない力が出るものです。筆記試験で万が一、学習していなかった項目が出題されても、無理やり解答してください。部分点を拾うもよし、大学によっては正解を求めているのではなく、論理的に記述できているかどうかを見ている大学院もあると思います。

とにかく、最後まで諦めないということが大切です。今まで頑張ってきた自分を信じて合格を勝ち取りましょう。

平林チューター